

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

18645

こども科学館管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	3	生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
施策	1	豊かな心を育む教育の推進
取組方針	2	郷土を愛するふるさと教育の推進

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	こども科学館費		
	大事業	こども科学館事業		
中事業	こども科学館管理事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	昭和56年度	～	無し	担当課・担当課長・Tel	学校教育課	西谷 宣昭 435-1196
事業実施の根拠法令			関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	こども科学館の維持管理		お客様に対する安全及び衛生管理、施設の設備の保守点検、常設展示機器の保守点検、プラネタリウム機器の保守点検、事務機器等の賃借及び保守等の事業			
事業内容		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		こども科学館の建物管理、入館者管理、その他科学館の管理運営に必要な事務等。	こども科学館の建物管理、入館者管理、その他科学館の管理運営に必要な事務等。	こども科学館の建物管理、入館者管理、その他科学館の管理運営に必要な事務等。	こども科学館の建物管理、入館者管理、その他科学館の管理運営に必要な事務等。	

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	14,312	12,877	13,695	15,045	16,692	15,272	15,380	0	0	0
伸び率(%)	0%	0%	△4.3%	16.8%	21.9%	1.5%	△7.9%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	5,353	5,275	4,516	4,516	4,558	4,558	4,558	0	0
	正規職員以外	5,021	5,231	4,889	4,985	5,987	6,123	5,987	0	0
	小計	10,374	10,506	9,405	9,501	10,545	10,681	10,545	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	8,975	7,945	8,998	0	9,169	0	9,406	0	0	0
一般財源(税等)	5,337	4,932	4,697	15,045	7,523	15,272	5,974	0	0	0
所要人数 (人)	正規職員	0.69	0.68	0.58	0.58	0.58	0.58	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	1.67	1.78	1.72	1.77	1.72	1.79	1.72	0.00	0.00
主な予算内訳	光熱水費 7,373千円、管理委託料7,852千円(令和5年度 当初)									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
開館率 (開館日数/開館可能日数)	%	目標値	100	100	100	100	
		実績値	100	100	100		
		達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
こども科学館入館者数	人	目標値	53000	53000	53000	53000	
		実績値	34658	41449	42133		
		達成度(%)	65.4%	78.2%	79.4%	%	%
		目標値					
		実績値					
	達成度(%)						

#### 4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>科学をとおして子供の健全育成を目標とすることも科学館は、科学や理科、モノづくりに関し、特に興味や関心を高めるための教育の拠点として市民等からのニーズがあり、和歌山市に必要な施設である。新型コロナウイルス感染症の影響で、入館者数が減少したが、現在は増加傾向にある。</p>
見直し・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物や設備の老朽化が進み、改修等をしなければならないところがある。特に外壁の痛み、冷暖房設備の不調等が目立ち、今後も改修等のための予算を粘り強く要求していきたい。また、照明のLED化を推進し、省エネにも取り組んでいかなければならない。</li> <li>・プラネタリウム室内にヒアリングシステムが完成できるよう、当該アンプ装置の設置の予算要求を粘り強く行っていきたい。(アンテナ部分は、プラネタリウム改修時設置済み)</li> <li>・1階奥、階段部分、3階の展示物が依然古く、改修に向け今後も粘り強く予算要求をしていきたい。</li> </ul>